

石川県作業療法士会では、市町と連携し、認知症支援や介護予防、また県士会独自の取り組みである中高生と高齢者の世代間交流、スポーツフェスを通して、地域での暮らしと人とのつながりを支えています。

地域での認知症支援活動～介護予防事業を含む、地域支援事業への会員派遣～

金沢地区

「いつでもどこでも脳活プログラム」を活用し、介護予防教室や地域サロンで、楽しみながら認知機能の維持・向上に取り組んでいます。また、県内の作業療法士を対象に研修会を開催し、地域での活用につなげています。



2025年度実績

27か所

延べ参加者386名



加賀地区

「加賀市版脳活性化プログラム」を活用しています。「おたっしゃサークル」では、作業療法士を含むリハビリテーション専門職がプログラムを紹介し、地域場の場づくりを支援しています。また、介護予防事業「元気はつつつ塾」での定期評価や、ケアマネジャー連絡会へにも参加しています。

認知症になっても
参加し続けられる
地域へ



世代間交流を通じた地域づくり ～中高生と高齢者の交流会～

中高生が教え役となり、高齢者がタブレットやスマートフォンで地図や動画、メッセージアプリなどを体験する世代間交流事業を実施しています。能登地区では、世代を超えた交流を通じて、震災後の地域づくりを作業療法の視点から支援しています。

2025年度実績

金沢市 2回	中高生	38名
珠洲市、羽咋市 各1回	地域の方	39名

2026年度は、能登地区 3回、金沢市 1回 計4回開催予定。



いっしょに脳活プログラム体験

おしゃべりしながら、タブレット体験

スポーツを通じた社会参加と地域のつながり ～リハビリテーション・スポーツフェス2025～

「施設でも、自宅でも、どこでも、家族と仲間とスポーツを楽しむ」をテーマに、「リハビリテーション・スポーツフェス2025」を開催しました。

障害のある方や高齢者が、それぞれの場所でスポーツを楽しみ、人や地域とつながる機会をつくることを目的としています。

2025年度（第5回）実績

延べ参加者 約600名

能登地区からも多くの方が参加してくださいました。



認知症支援を担う人材育成

認知症のある方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、会員の知識や支援力の向上にも取り組んでいます。

石川県かかりつけ医等 認知症対応力向上研修	修了 88名
--------------------------	-----------

スキルアップセミナー 「高齢期作業療法の 学びを深める」	参加 84名
------------------------------------	-----------